

1. サンファン移住地について

ここサンファン移住地は、来年、入植 60 周年を迎えます。新天地を求めて、多くの日本人が南米各国に移住して来ました。

サンファンには、九州の長崎県の方が最も多く移住され、次いで、福岡県、高知県、北海道...ですが、ほとんどの方が、九州出身者です。人口は、約 760 名で、男性 390 名、女性 370 名、その内、70 歳以上の高齢者の方々は、105 名おられます。(こちらでは、70 歳以上を高齢者としております。)



サンファン日本人移住地入り口の看板

2. 位置等について

サンファン移住地は、南米大陸のほぼ中央部に当たる地帯で、日本よりやや狭い面積のサンタクルス県にあり、サンタクルス市から北西に国道 4 号線を車で走り、約 140 kmのところに位置しています。気候は、雨季と乾季の区別が明瞭なサバンナ気候区であるものの、年間・月間等の降水量からどちらかと言えば亜熱帯雨林気候帯に属するかもしれません。

3. 福祉関係について

ここサンファンにおける福祉施設等は、私が活動拠点としている「開拓者憩いの郷」があり、デイサービスとパワーリハビリテーション、そして、趣味の家として月曜日～金曜日まで開催しています。

デイサービス：毎週金曜日開催
(約 16 名の高齢者の方が利用中。介護度的には、要支援 1 程度の方がほとんど)

パワーリハビリテーション：毎週月曜日と木曜日の午後開催

趣味の家：ほぼ毎日開催



勤務先の「開拓者憩いの郷」
デイサービス・パワーリハビリ・趣味活動
などが行なわれています。

その他には、診療所の中にショートステイ(4名の入所可能)とデイケア(約6名程度の高齢者の方が利用中...介護度的には要介護1~2程度)そして、リハビリセンターも併設され、理学療法士の指導のもと訓練をしています。

4. 私の活動内容について

私の活動内容は、勤務先でもある「開拓者憩いの郷」が高齢者福祉の拠点として今後も機能することですが、今現在、前述のとおりデイサービス・パワーリハビリテーション並びに趣味の活動の場として、それぞれ活動を展開しております。開所してまだ2年余りと日も浅く、その活動内容も試行錯誤で実施している状況であり、適時、見直しを行いながら施設全体の企画から運営等を行っていくことが求められています。

また、サンファンにおける「医療・保健・福祉」相互の連携体制も整ってはならず、その連携体制の構築も重要な活動内容となっています。

2年間という限られた期間であるために、すべてを実施することは出来ないかと思いますが、次期隊員に引き継ぎながら、サンファンでの高齢者福祉の基盤をしっかりと築き上げていきたい...と、考えています。

デイサービス利用者の方々
(介護予防体操)



週2回のパワーリハビリの様子
(介護予防としてのリハビリ)



2014年9月18日

日系シニアボランティア 横山 勉